

第 15 回きたひろしま都市型観光推進協議会 議事

- 1 日時 平成 31 年 3 月 22 日（金） 18 時 30 分から 20 時 00 分
- 2 場所 北広島市役所 4 階 会議室 4C・4D
- 3 出席状況

NO	氏 名	職 業 等	出欠
1	竹 村 画 二	北広島市観光協会会長代理	出
2	山 崎 悦 子	北広島商工会会員（行政書士山崎法務事務所）	欠
3	千 葉 隆 一	札幌ゴルフ倶楽部 支配人	欠
4	木 田 勝 彦	札幌北広島クラッセホテル総支配人	出
5	仲 川 博 子	ホクレン農業協同組合連合会 管理本部販売推進部（くるるの杜）	出
6	三 上 太 一	三井アウトレットパーク札幌北広島所長	欠
7	三 浦 麻 衣	市民（会社員）	出
8	善 甫 啓 太	市民（会社員）	出
9	（座長）山 田 基	北広島市経済部観光振興課長	出

きたひろしま都市型観光推進協議会事務局

所 属	役 職	氏 名
経済部観光振興課	主 査	波多野 拓也
	主 事	千 葉 啓
	主 事	山 本 梢

傍聴者

人 数
0 人

4 議事録

1. 開会

事務局) 第 15 回きたひろしま都市型観光推進協議会を始めさせていただきます。

開会に先立ちまして、本協議会に座長を置くという決まりになっていますので、座長をまず決めたいと思います。特にご意見がなければ事務局一任とさせていただきますが、いかがでしょうか。

委員) 異議なし

事務局) 座長指名 (市観光振興課長)

2. 報告

座長) それでは、次第のとおり都市型観光推進協議会を始めさせていただきます。本日は、今年度の報告の後、来年度の事業について議事があります。皆様と意見交換させていただければなと思っております。

事務局) 平成 30 年度の取組みについて、資料に従いまして事業の概要を説明いたします。

①観光振興事業としては、北広島市観光協会への補助事業を行っております。毎年開催しております「北広島ふるさと祭り」、「北の酒まつり in きたひろしま」、「北広島ふれあい雪まつり」が主なイベント内容となっております。

そのほか、きたひろしま 30km ロードレース、北海道どさんこプラザ札幌店石狩フェアで出店を行っています。

②都市型観光推進事業は、「北広島市の都市型観光の方向性について」を踏まえて、行政で出来る部分は引き続き実施しながら、この推進協議会では具体的にご意見をいただく場として開催したいと考えています。

各種イベントにおいてもプロモーション活動を実施いたします。主な内容は、例年のサッポロビヤガーデン「ふるさと応援ステージ」のほか、今年は日本ハムファイターズと広島東洋カープの交流試合に合わせて広島県のマツダスタジアムにおいて「わがまち魅力発信隊」という特設ブースに出店し観光 PR を行いました。また、ツーリズム EXPO ジャパンに千歳市、恵庭市、石狩振興局と共同でブースを出展し、北海道胆振東部地震の風評被害対策を実施したところであります。

また食資産を活用した観光 PR につきましては、株式会社見方に作成していただいた地元の農産物を使った「きたひろ農学校シリーズ」などを活用して、東千歳駐屯地や北広島ふるさと祭り、サッポロオータムフェストに出店・販売をし、観光 PR を実施いたしました。例年実施しておりました広島コンベンションビューローとの連携した PR ステージは地震の影響で中止しております。

次にインバウンドの取組みにつきましては、アジアツーリズムコンベンション 2018 (以下、「AGTC」とする。) に北海道ゴルフツーリズムコンベンション 2018 (以下、「HGTC」とする。) の代表として商談等に参画しました。フィリピンで開催され、4 月 22 日から 24 日までの日程でセールコールを行ってい

ます。

HGTC とは、ビジットジャパン地方連携事業の一環で、東南アジアの旅行会社等を対象として、北海道のゴルフ場に視察や買い物やグルメなど、観光を体験してもらう招聘事業であります。今年は北広島市がホストとなり、北広島市内の施設で受け入れを行っております。

またインバウンドの取組みの1つで近隣地域との連携事業を行っております。「きた北海道広域観光周遊ルート推進協議会」というものがございまして。北広島市には宿泊施設があるので、観光拠点の1つとして参加しています。平成30年度では、受入環境整備として多言語音声翻訳システムの実証実験に参加し、北広島市役所とエルフィンパークに設置し訪日外国人の問合せに対応しています。

「ようこしいしかりプロモーション事業」は、石狩管内6市町村で構成し、ターゲットを台湾に絞った観光PRを行いました。平成30年度取組みとしては、在日台湾人パワーブロガーの方にFacebook等でPRしていただくほか、インバウンド向け旅行商品をサイト掲載・販売を行いました。市内事業者から要望がなかった状況です。

同じくインバウンドの取組みとして「千歳・恵庭・北広島広域観光推進協議会」を平成29年度から実施しております。こちらはレンタカーを利用する外国人旅行者へ安全なドライブの推奨や観光の情報提供を行う事業です。平成30年度は観光資源の把握・発掘を行うワークショップの開催とファムトリップの実施。台湾の方が安心して運転してもらえるようドライブ用パンフレットを作製し、台湾へのセールスコールを行っております。

③サイクルツーリズム等観光拠点整備事業につきましては、まずツール・ド・キタヒロという自転車のイベントを7月1日参加25名、7月22日参加20名、9月1日参加32名の3回開催いたしました。

サイクルスタンドの設置は、サイクリストの利便性を高めるということで、13か所に設置いたしました。

旅行エージェント等招聘ツアーは、台湾の旅行会社4社とインフルエンサー1名を招聘しまして、4泊5日の日程で市内を巡り、サイクリングや食事、買い物を体験していただきました。

観光PR動画を作成しましたのでご覧ください。(動画再生)

シティセールスの動画はありましたが、観光PR動画がなかったため日本語、英語、簡体字、繁体字の4パターン作成しました。

広告の掲載については、北海道商工会議所連合会が事務局を務めるサイクルツーリズム推進連絡会が発行している冊子に市のサイクリング情報を掲載しております。また、首都圏プロモーションとして埼玉サイクルエキスポにサイクルツーリズム推進連絡会と連携して出店いたしました。

最後になりますが、人材育成の部分で、市農政課では農泊を推進しておりまして、農泊自体が観光と密接に係っているものですから、観光振興課でも連携して進めている事業でございます。農泊でもモニターツアーを実施し商品造成を行っておりますが、そのなかでガイド等市民参加が必ず必要になってくるものですから、「観光おもてなし入門講座」と銘打って札幌国際大学から講師をお招きし、セミナーを実施いたしました。

④北広島市観光基本計画の改定につきましては、日本ハムファイターズのボールパーク建設地として決定したことを受けて改定の作業を行っております。

事務局からは以上です。

座長) 取組みに関しましてご意見ありましたらお願いします。

委員) 質問・意見なし

座長) 意見はまた後程でも構いませんので、次の議事に進みます。

3. 議事

座長) 続いて議事「平成 31 年度の都市型観光推進事業の取組みについて」、事務局の説明をお願いします。

事務局) 平成 30 年度からの変更点といたしましては、観光振興事業の観光協会への補助金は、観光協会専属の職員 1 名分の人件費とそれに伴う事務費を計上しています。現在、観光協会の事務局を観光振興課で担っていますが、観光協会の独立、法人化を支援してまいります。

都市型観光推進事業については、東京オリンピックの影響でツーリズム EXPO ジャパンの開催地が東京から大阪に移りますが、継続して出展する予定です。

サイクルツーリズム等観光拠点整備事業については、ツール・ド・キタヒロの開催を 3 回から 2 回に変更いたしました。サイクリングイベントが北海道内でかなり増えており、参加者が少ない 7 月末を除き 2 回に絞って実施を考えています。サイクルスタンドは平成 30 年度から 1 箇所増やし 14 箇所設置したいと考えています。多言語翻訳機について、実証実験は終了しましたが引き続き市役所とエルフィンパークに設置いたします。

座長) 質問などは御座いますか。

委員) サイクルツーリズム北海道推進連絡会のパンフレットや北広島市で作成しているストーンペーパーのサイクリングパンフレットを作成していますが、海外からコンベンションや旅行エージェントを招聘する際は紙よりもデジタルコンテンツが求められます。

逆に空港等の着地型の情報発信の際は紙媒体が良いです。

委員) 農泊と関係して、食育は観光資源になり得ます。赤毛米に限らず農家で独自に品種改良をされているとか、六次化商品など他の地域ではやっていないことを話せば農泊と絡めて宣伝できます。

事務局) 市内にも無農薬や手農薬にこだわり、安心・安全という切り口で頑張っている農家もたくさんいます。北広島市の農業も食育という視点で注目しなければならないと思いますので、PR の仕方など今後ご教授いただければと思います。

委員) 北広島市も外から人を呼び込めるようになると思います。来訪者を迎える受け皿を育てなければならないと考えたら、人材育成のフォーラムをぜひ市内の学校でも取り組めればなと考えます。

ボールパークもできますので市民が置いてきぼりにならないよう、子供が憧れて地元で頑張ろうと思

えるようなまちになればと思います。子供たちが市内の仕事を知る機会を持ったり、市内で就職できるよう一緒に盛り上げていけたら面白いと思います。

委員) 将来の子供たちの仕事も含めて、北広島市の独自の商品等、産業を厚くしていかななくてはならないと思います。

委員) ここ数年、観光協会の事業で北海道外のイベントに参加する機会がありますが、北広島市の認知度が極端に低いと感じています。体感としては認知率は 0.5% くらい。ただ、旅行好きがたくさんいるエリア、観光の市場規模の大きいエリアは北海道旅行の際に北広島駅を見ているので認知度が上がります。

認知度が低いと面白いイベントを計画しても告知にコストがとてまかかります。札幌市内の PR でも「北広島市ってどこ？」と真面目に聞かれます。認知度が低いと行ってみたいと思うまでのプロセスに時間がかかります。市には良いものがたくさんあるのに中身を知ってもらうまでに時間がかかるのがもどかしいなと感じています。

委員) 北広島市は首都圏、海外からのアクセスもよく北海道のなかでは積雪量も少ないので北海道に憧れを持った富裕層が移住するにはぴったりなまちだと感じます。

委員) 認知度が低いことを逆手に取るようですが、内緒にしておきたい一級品としての魅力が北広島市のゴルフ場にありますが。ゴルフしか興味がないという本州のグループを知っていますが、「混んだら困るから教えたくない」といって頻繁に来ています。

委員) ゴルフ場は一級品の観光資源ですが、キャディやコースキーパー等の人材不足が課題になっています。観光業やサービス業は人材育成にエネルギーがかかるし技術も必要です。外国人労働者のゴルフ事業者を技術者として認めてもらい、日本で働いてもらおうとゴルフ業界は苦勞しています。

委員) 全産業に絡む観光業ですが、下支えの労働力に余裕がないと雇用を維持するのは容易ではないと思います。

委員) 多言語翻訳機の話もありましたが、多言語で話せなくても「おもてなしする気持ち」があればコミュニケーションは取れますが、契約や料金、安全に係るインストラクションは確実に説明できないと後々問題になります。

委員) 都市型観光から国際都市型観光にシフトして、地域の国際化も同時進行で進めて行けたらいいですね。

4. 閉会

座長) ほかに意見等なければ、これをもって閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。